

一般質問



民主・護憲クラブ
櫻井 ちはる 議員



過去を未来に変える、 活かせる資源としての 市庁舎本館について

問 市民の誇り、財産である市庁舎本館への市長の想いは。

答 今後、どんな形で活用していくのか、市民の皆様と十分に話し、御意見を交わしていく必要があると感じている。



自由民主党市議団
豊福 達也 議員



未来の学童保育及び 幼児保育について (第3子以降の保育料の無償化)

問 県は、子育て支援策として約5億3,400万円の補正予算を今定例会に提出された。

第3子以降の無償化について県からの情報・通達・連携されていることはあるか。

問 世界文化遺産と連携した資産価値向上、歴史的建築物である本館をつなぎ、近代産業都市大牟田の全体像を語るストーリー性形成の考えは。

答 近代化産業遺産ガイドブックで本館なども紹介しており、石炭産業とともに発展した大牟田のまちの魅力を一体的に紹介することは可能。

再発言 地域経済、観光、教育に有する投資であり、市として積極的な姿勢で活かし方の検討を。また、市民と一緒に考える対話の機会を要望。

答 第1子の年齢や世帯の収入に関係なく、第3子以降の全ての子どもの保育料を無償化することや市町村への補助率が2分の1であることが示されている。

問 県が予算をつけて実施するまでの間、本市独自で前倒して実施をするつもりはあるか、市長の考えは。

答 県予算の成立後、支援内容を詳しく把握した上で、早急に検討を進めたい。

再発言 本市の姿勢として早急に進めてもらいたい。人口

市子連への子どもの加入率が 22.5%と減少、子ども会の 在り方、支援の検討を

問 19小学校区のうち10校区で子ども会未設置か市子連未加入の状況。近隣市町と比べ、支援が非常に少なく感じるが。

答 他市の状況も踏まえ、支援内容について協議していく。

地域における街頭防犯 カメラ設置補助の実施を

問 近隣自治体の状況は。

答 県下60自治体のうち13自治体で一部補助を実施。

減少のブレーキにもなり、大きなかじ取りになると考える。

新栄町駅前地区 市街地再開発事業について

問 今後の進め方として、どう考えているか。

答 事業者協議の進展にいつでも対応できるよう、都市計画変更等の法手続や国・県の補助金協議など、早期の事業推進に向けた準備を進めたい。

再発言 水面下で進んでいるものと理解する。良い兆しが見えるように努めてほしい。

答 基本計画、基本設計、実施設計及び施工の各段階においてできる限りの事業費の削減を図り、市庁舎の整備を進めていきたい。

孤独・孤立対策に向けて

問 重層的支援体制整備事業計画に盛り込む支援体制が必要では。

答 健康福祉推進会議で総合的な視点から孤独・孤立対策についても協議をお願いし、市として取組を進めたい。



民主・護憲クラブ
船原 基近 議員



市財政の在り方について

問 2025年度末の市の地方債残高は約502億円の規模だが、市税収入約150億円、歳入割合23.7%の財政上の問題は。

答 今後庁舎建設等で市債残高が増加することも見込まれ

るため、公債費が財政を圧迫しないよう、事業費の精査等によって実質的な公債費負担の抑制に努めたい。

新市庁舎整備に関する 基本計画策定について

問 基本計画策定段階での情報発信と意見聴取の方法は。

答 今年度から市職員出前講座のメニューに追加するなど、市民の皆様に分かりやすい丁寧な説明を行っていききたい。

問 本気で事業費の削減を求めるが、市長の見解は。